「木の紙」 ダイアリー・ノート ご紹介

木材の温かみを、大切なお客様へ・・・

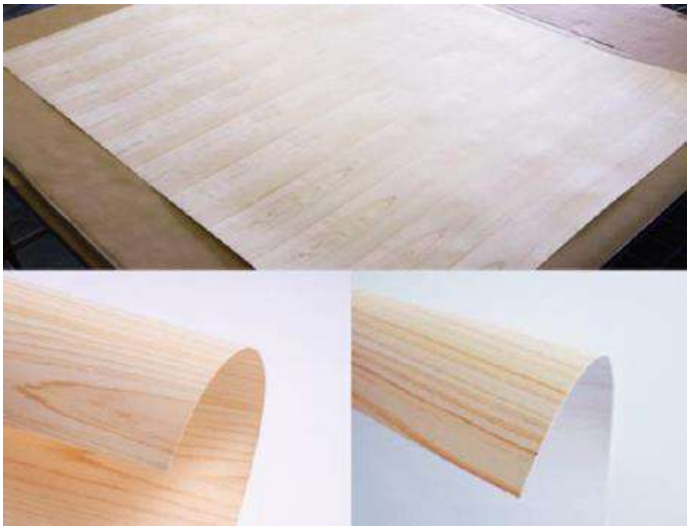
●「木の紙」とは・・・・・

・日本産の木材を厚さ 0.1 ㎜～0.2 ㎜にスライスし、裏地に紙を貼り合わせることで、「書く」「折る」「曲げる」が可能な素材です。

・一枚ごと、木目や色目が異なり、木の香り・質感がそのまま（木のまま）残ります。

・木目を印刷したものでは生まれない「自然の温かみ」や「味わい深さ」を感じさせてくれます。

・使用する木材は、全て国産のものを使用しています。
（おおさか河内材ヒノキ、京都ヒノキ、秋田杉、多摩杉、智頭杉、神奈川杉よりご選択 ※要在庫確認）



●商品概要 B6 サイズ（縦182mm×横128mm）

【表紙オリジナル印刷】

インクジェットで４色
印刷が可能

【月間ダイアリー レイアウト】

年間カレンダー＋月間カレンダー

【ノート レイアウト】

罫線のノートページ
カレンダーが不要の場合
罫線のノートのみで対応が
可能

注)インクジェットのため白色は印刷不可となります

株式会社 新寿堂
https://www.shinjudo.co.jp/

東京営業部 〒174-0042
東京都板橋区東坂下1－13－2 TEL(03)3558-0113(直通)

関西営業部 〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田2－2－22ﾊｰﾋﾞｽ ENT ｵﾌｨｽﾀﾜｰ 19階 TEL(06)6136-5005

森を守る　お手伝いを・・・

SHINJUDO
TOKYO
Since 1952

木を切ることが森を守ること、CO2 排出を抑えることをご存じでしょうか

森に手を入れるのは大事なことです。

例えば密集した森林の間引き、木を切った後に植林して新たな木を育てることは、CO2 の吸収率を上げ、森林土壌の働きにより地中を流れる水質の浄化を促し、洪水の緩和、貯水する機能などがより発揮されるようになります。

適切な森林管理の継続と伐採した木をきちんと使用することは地元の自然を豊かにし、そこで暮らす私たちに返ってきます。

＜世界と日本の森林環境の違い＞

	現状	課題
世界	①全世界で森林は減少(730万ha/年　0.18%/年) 特に南米、アフリカの減少が顕著（アジア、ヨーロッパでは増加の傾向） 違法伐採　・農地への転用　・森林火災等による ②児童労働・強制労働が行われている	森林破壊を止め、森林を回復すること
日本	①1966年→2017年　森林率は67%で横ばい 輸入木材の増加、自然林は減少、人工林は増加 ②森林伐採の量が減少、森林資源を活用できていない状態 資源として使えない木が残り、将来は森林資源が減少してしまう恐れ 樹齢が長い木は二酸化炭素の排出量が吸収量を上回る 土壌が保たれないと浸食、洪水、崩壊の恐れ　等 適度な伐採が森林の環境が保たれ、温暖化リスクを防ぐ	適度な間伐と国内産業への有効活用

注目される木材使用

大阪万博を始め、現在、ビル建設なども木材を利用した高層建築が選ばれています。

また、飲み物を飲むときに使うストローなども、何度も使える木のストローなどにご活用いただくケースも増えています。

【SDGs を皮切りに】

持続可能な開発目標（SDG s ）として、17 の開発目標が制定され、

12．つくる責任、つかう責任　　13．気候変動に具体的な対策を　　15．陸の豊かさを守ろう

３つの目標を考える中で生まれた製品が、木の紙を使用したダイアリー、ノートとなります。

私たちは、ものづくりを通じて、ちょっとした、いつの間にか環境貢献をしている、そんな生活のお手伝いに貢献できたらと思っております。